

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

旭ヶ丘保育園

平成18年度に第三者評価に参加し、その結果を受け課題となった項目について話し合っていました。前園長の定年退職や職員の異動により体制に大きな変動があり、保護者も職員も戸惑いながらもありませんでしたが平成20年度から新体制でスタートし、「強いからだ」「明るい心」「豊かな経験」を変わらぬ保育目標として、一から課題の改善に取り組みました。

職員の人権研修の充実、保護者へ人権尊重の啓発、保護者との懇談会の定期実施、他園との連携や小学校職員との交流について、年間計画に位置づけ実施しました。

人権では、国際交流や人権学習を行い、その保育内容を保護者にも伝えることで啓発を行いました。また、職員も子ども達と共に学び、さらに園内研修や外部研修で理解を深めその成果を共有しています。

保護者との懇談では相互理解を図ることができ、信頼関係を深め子育ての喜びを共有できました。

他の保育園や小学校との連携では、子ども達と他園の子ども達や職員との交流機会を設け、共に育ちあう喜びを味わい、職員も他園の保育の様子などを知り自己研鑽の場とすることができました。

小学校職員の保育参加や授業参観などの交流を行い、発達の連続性を踏まえた適切な情報の共有や相互理解を図ることができました。

この度の再評価結果に慢心することなく、これからも地域に信頼される保育園を目指して、保護者との信頼関係を大切に、子どもにとっては「楽しい保育園」保護者にとっては「安心できる保育園」となるよう研鑽努力していきたいと思えます。